

主役は俺だー 2023年秋⑤

■中田大翔（なかた・ひろと） 北星学園大 WR 3年

6月の東京農業大とのオープン戦。先制を許した北星学園大が第3Q5分、反撃ののろしを上げた。エースQB中手龍一（4年）からエースレシーバー中田への13ヤードTDパス。相手DBと競り合いながらキャッチを決め、あっさりと6-6の同点に追いついた。さらに、第4Q開始直後に44ヤードのロング弾も鮮やかに捕球して勝ち越すと、同4分にはこの日3本目のTDキャッチで20-6とし、東京農業大を突き放した。「相手チームに試合の流れが行きそうだったので頑張った」と中田。北星学園大のお家芸のパス攻撃の威力を見せつける逆転勝利だった。

北星学園大付属高では野球部の三塁手。同じ高校の友人に誘われてアメフト部に飛び込んだ。「TDの回数が多い。ボールを取りたかった」とWRを志望し、1年生秋から試合に出場。札幌学院大との合同チームで臨んだ昨年春の東京農業大とのオープン戦で、試合終了45秒前にQB中手からの8ヤードの逆転TDパスをキャッチ。相手守備陣の隙を突く巧みなコース取りが呼び込んだ公式戦初TDで、勝負強さもアピールした。秋の道学生選手権の帯広畜産大戦でも、LBとして自らインターセプトでボールを奪うと、続く攻撃で先制のTDキャッチも決めた。



177センチ、75キロのバランスの取れた体で、「球際のせめぎ合いがWRのおもしろさ」と自信も深めて迎える今季。北星学園大は復帰組の応援も得て2年生以上の14人でリーグ戦に臨む。中田もLBとの兼任で攻守の中核となる。昨年は棄権1試合を含む0勝4敗1分けで終わっただけに、「まずは2年ぶりの勝利」と中田。そして「中手さんのラストイヤー。どんな球が来ても全部取る。中手さんのチョイスにこたえて、最後まで楽しくやりたい」とホットライン全開を宣言した。

〈プロフィール〉

2002年12月26日、札幌市生まれ。経済学部経営情報学科。NFLバイキングスのWRジャスティン・ジェファーソンのキャッチングにあこがれる。背番号「99」は「試合を見に来てくれる両親が分かりやすい番号を選んだ」という。